

吉田 英夫議員

質問 期日前投票の負担軽減について

(内容) 高齢者の投票が困難になっていきます。これからは、期日前投票を行う人が多くなってくると考えるが。

① 宣誓書の記載を簡素化して記入できるようにしてはどうか。

答弁 宣誓書の様式は、法令等で定めた必要最小限の事項について記載をお願いしているものであり、当村では県で定められた統一様式を使用しているため、これ以上の簡素化は難しいと考えます。

② 宣誓書を投票入場券の裏に印刷し、事前に自宅で記載できるようにし、高齢者や障害者の心理的負担を軽減してはどうか。

答弁 宣誓書に事前に記入してもらい持参することは可能ですが、別人になりすましての投票も懸念されます。期日前投票所へ来てから記入してもらうことで、本人確認を行っている面もあり、選挙システムを導入していない当村では、事務処理の面からも、現時点での対応は難しいと考えます。

③ 投票することが目的であり、宣誓書は不要と考えるが。

答弁 公職選挙法施行令第49条の8の規定で提出しなければな

らないことになっており、現行では省略することはできません。

質問 移動投票所の設置について

答弁 東日本大震災の影響で、期日前投票の一環として行ったケースはあるようですが、期日前投票所を複数設置することになり、現状の体制では困難であると考えます。しかしながら、今後も進む超高齢化社会に向けて、定められた制度や体制の中で、有権者の皆さまにいかんして投票しやすい環境を整備し、提供していけるか、検討していきたいと考えています。

質問 医療費削減について

(内容) 村でもジェネリック医薬品の使用を積極的に薦めることとが、村の財政運営と個人の医療費削減に大事であると思うが。

答弁 医療機関で処方される薬には、先発医薬品と後発のジェネリック医薬品と言われているものがあり、特許権のない安価なジェネリック医薬品を使用すれば、個人負担また医療保険財政の改善に資するものと考えられます。村でも、国民健康保険後期高齢者医療の被保険者に対して、「ジェネリック医薬品希望カード」付きのリーフレットを被保険者証の一斉更新時に送付しています。また、平成25年度には、定期的、継続的に薬

を使用されている方40〜50人程度を抽出し、先発医薬品と同等の薬効を持つジェネリック医薬品に換えた場合との差額について通知を送付する予定です。

質問 高齢化社会に向かっている取組みについて

(内容) 高齢化社会に対し、どのような構想を立てているのか。

答弁 村の高齢者に対する施策は、「高齢者福祉計画」と「介護保険計画」を併せた「高齢者福祉介護計画」を策定し、様々な事業の実施に取り組んでいます。今後においてもますますその取り組みは、高齢化社会に向かっている構想において切り離せない事業であり、その継続と拡充の推進は、最重要施策であると位置付けています。また、各地域の集会所を巡回で活用し、健康づくり介護予防啓発事業として、65歳以上で要介護認定を受けていないいわゆる「元気老人」を対象に、軽い体操・筋力トレーニング、レクリエーション、手芸などの事業を実施し、健康維持とおしゃべりによる参加者同士の親交を図っています。高齢者がいつでもゆつくりくつろげる憩いの場合は、村内には限られてしましますが、既存の施設を様々な同好会や趣味の会等で有効活用してもらえたらと考え

ています。

質問 ゴルフ場跡地に焼却場の建設を。

(内容) 小川地区衛生組合の焼却施設が、老朽化により億単位の修繕費が掛かり、広域化の検討もされているようだが、建設地として、ゴルフ場跡地が最適かと思うが。

答弁 平成20年度に、効率的なごみ処理体制が確立できるように、1日当たりの焼却能力が300トン以上となる施設整備が確立できるよう「第2次埼玉県ごみ処理広域化計画」が策定され、現在は吉見町、東松山市、桶川市と小川地区衛生組合を構成する小川町、嵐山町、滑川町、ときがわ町、東秩父村の8市町村の枠組みで広域化に向けて確認したところです。現段階で焼却プラントを東秩父村の地に設置する考えは想定しておりません。

田中 文司議員

質問 東秩父父署の新用地について

(内容) この度廃校になる西小学校の校庭が、建設地に最適と考えるが。

答弁 今後、議員や消防関係者の皆さまのご意見を伺うとともに、消防本部等と連携を図りながら、建設地の検討を進めてま

いりたいと考えています。

質問 防災情報通信システムについて

(内容) 計画の進行状況を伺いたい。

答弁 平成24年10月に、「防災情報システム調査設計業務」に着手し、現地調査をはじめ、現在まで担当者レベルによる8回のプロジェクト会議を開催し、システムの詳細について調整を重ね、平成25年度の施工に向けて準備を進めています。事業実施にあたりましては、議員のご支援をよろしくお願いいたします。

福島 重次議員

質問 村長選における約束と新年度予算について

(内容) 村長選の約束が、新年度予算にどのように反映されているか。

答弁 ①「村長の給料30%減額」についてはすでに実施し、副村長、教育長についても同様に減額してあります。

②「子育てしやすい村づくり」については、平成25年度から、城山保育園において1歳児からの低年齢児保育を開始します。

また、こどもインフルエンザ予防接種の対象を、6か月以上18歳未満に達した年度末までの者に拡大し、保護者の負担を軽減